

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	金沢大学皮膚科における最近16年間の乳房外Paget病の統計	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ8-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	20	
	号	3	
	ページ	311-317	
	ISSN ナンバー	0915-3535	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2005	
	著者情報		氏名
筆頭著者		山田瑞貴,	金沢大学医学部皮膚科
その他著者 1		藤本晃英	
その他著者 2		竹原和彦	
その他著者 3		八田尚人	
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	臨床病理学的因子と予後との相関を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	金沢大学医学部皮膚科	
	対象者	乳房外 Paget 病患者 55 人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (1)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入 (要因曝露)		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
主な結果	初発時平均年齢は 70.8 歳, 男女比は 2.9:1 で男性に多かった. 発生部位は外陰部:50 例, 肛囲:3 例, 下腹部:1 例, 腋窩:4 例であった. 他臓器癌合併例は 7 例で, 全て男性であった. 腫瘍細胞の進達度は, 表皮内癌(T1):51%, 基底膜を破って真皮内に微小浸潤(T2):34%, 結節性浸潤癌(T3):4%, 結節性浸潤癌で脈管侵襲を伴うもの(T4):11%であった. リンパ節転移は 10 例(18%)に認め, 局所再発は 4 例(7%)に生じた. 遠隔転移は 6 例(11%)に認め, 全て男性で, 化学療法を行ったが治療効果はなく, 初診から平均 9 ヶ月で全例腫瘍死した. 原病死は T2 が 2 例, T4 が 5 例であった. リンパ節腫瘍は 21 例にあり, 転移は 10 例にみられた. リンパ節腫脹のない症例では死亡例はなかった. 転移のあったリンパ節 2 個以下と 3 個以上では生存率に有意差はなかった		

	結論	結節の有無と浸潤レベルが予後と相関していた
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ） 腫瘍の浸潤レベルと予後を解析した研究として重要である。